

# [EXAMPP版] 監視モニター IV

機能追加

リソースグラフ機能  
プロットグラフ機能

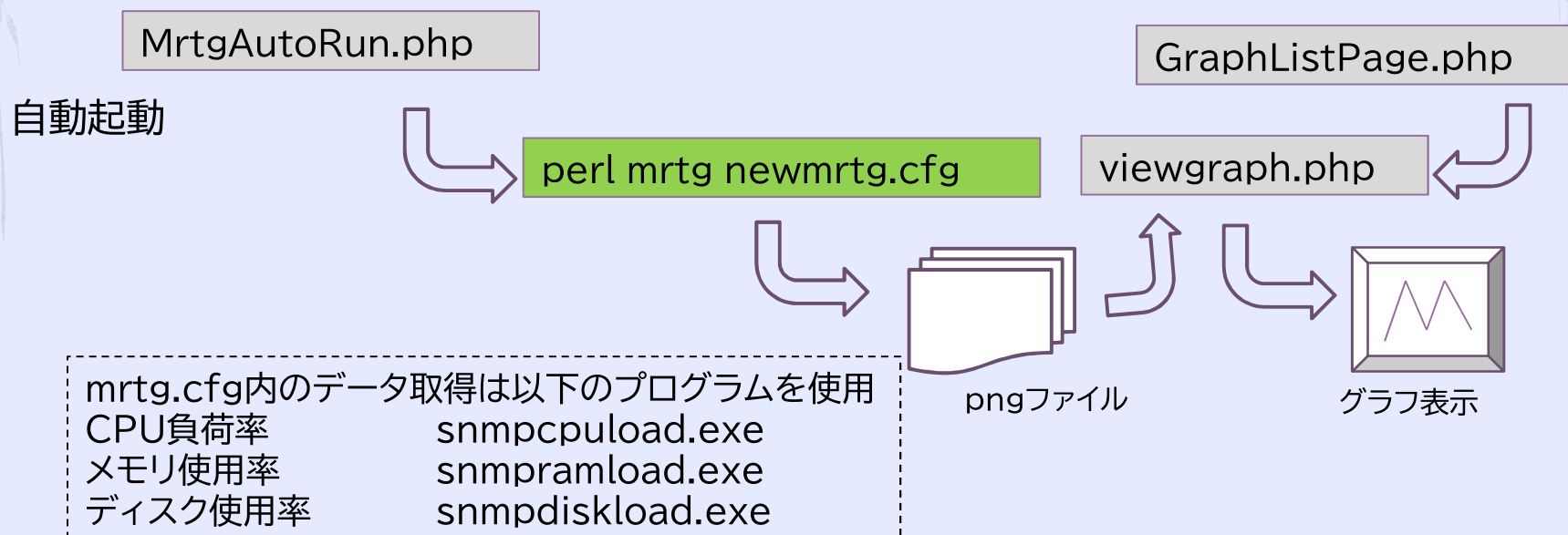
---

# リソースグラフ機能概要と処置

## 1. 概要

リソースグラフの動作プログラム

perl mrtg                      SNMPで、CPU,RAM,DISKのデータを取得する  
GraphListPage.php   随時グラフを表示するためメニューから起動する



## 2. 処置

メニュー「リソースグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックします  
グラフは最大36時間分のデータを扱います

# リソースグラフ機能概要と処置

## 2. グラフ操作

### 2.1 グラフを作成登録する

メニュー「リソースグラフ」選択、グラフ未登録のホストを選択、「グラフ登録」をクリック

図 2.1.1 グラフ登録

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ**
- プロットグラフ

設定メニュー

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

| ホスト   | グラフ種類        | 表示名       | 状態     |
|---|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19 | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ未登録 |
| <input type="radio"/> 192.168.1.155           | CPU;RAM;Disk | winsnmp   | グラフ未登録 |

グラフ表示メール添付    **グラフ登録**    グラフ削除

MRTGグラフデータの起動間隔は、メニュー「管理情報」の監視間隔(秒)で変更可能

図 2.1.2 起動間隔

監視ホスト追加

- 監視ホスト修正
- 管理情報**
- ヘッダ情報
- サーバー画像管理

監視間隔    SNMP間隔

120    30

送信先

mailuser@mydomain.jp

注:監視間隔の値の1/2は、Core Refreshの値になる



# リソースグラフ機能概要と処置

## 2.2 グラフを表示、メール添付する

メニュー「リソースグラフ」選択、表示/メール添付するホストを選択、「グラフ表示/メール添付」をクリック

図 2.2.1 グラフ表示

php ▼ グラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示/メール添付」「グラフ登録」「グラフ削除」のいずれかをクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要です

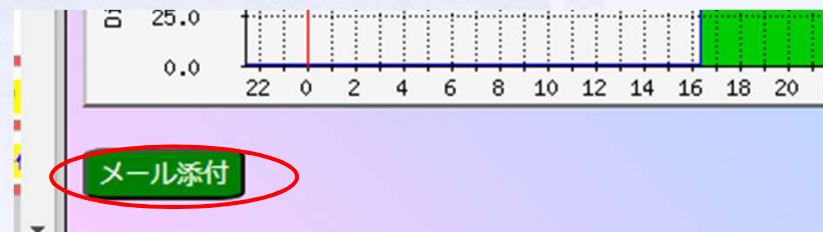
| ホスト   | グラフ種類        | 表示名       | 状態     |
|---|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> 192.168.1.19 | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ未登録 |
| <input type="radio"/> 192.168.1.155           | CPU;RAM;Disk | winsnmp   | グラフ未登録 |

グラフ表示/メール添付      グラフ登録      グラフ削除

図 2.2.1 MRTGグラフ



図 2.2.2 MRTGグラフメール送信



メールに画像を添付して送信する  
但し、ホスト情報のメールが「自動送信」であること

# プロットグラフ機能概要と処置

## 1. 概要

GnuPlotグラフの動作プログラム

plotgraph.vbs

SNMPログからCPU,RAM,DISKのデータを取得する

GraphListPlotPage.php

随時グラフを表示するためメニューから起動する

MrtgAutoRun.php

自動起動

plotgraph.vbs

SNMPログファイル

<host>.exe

gnuplot.exe

GraphListPlotPage.php

viewgraphplot.php

svgファイル

グラフ表示

## 2. 処置

メニュー「プロットグラフ」で対象ホストを選択し、「グラフ作成」をクリックします  
グラフは最大24時間分のデータを扱います

# プロットグラフ機能概要と処置

## 2. グラフ操作

### 2.1 グラフを表示、メール添付する

メニュー「プロットグラフ」選択、表示／添付するホストを選択、「グラフ表示／メール添付」をクリック

図 2.1.1 プロットグラフ表示

表示メニュー

- 監視モニター
- イベントログ
- イベントメモ
- SNMP監視結果
- リソースグラフ
- プロットグラフ**

設定メニュー

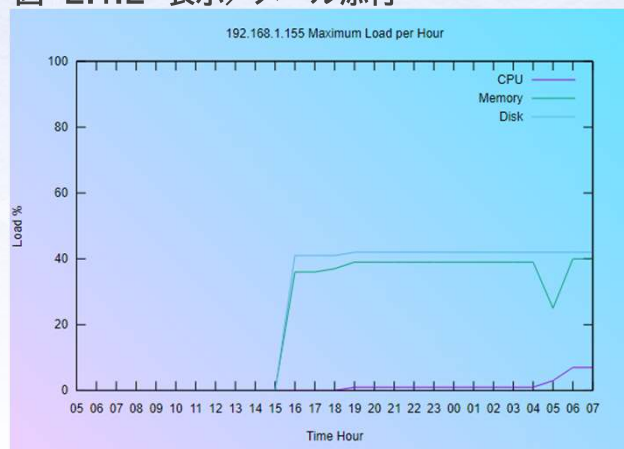
php ▼ プロットグラフホスト一覧 ▼

☆ホストを1つ選択して「グラフ表示／メール添付」をクリックする  
☆グラフのメール添付には、ホストのメール「自動送信」が必要

|                                  | ホスト           | グラフ種類        | 表示名       | 状態     |
|----------------------------------|---------------|--------------|-----------|--------|
| <input checked="" type="radio"/> | 192.168.1.19  | CPU;RAM;Disk | linuxsnmp | グラフ作成中 |
| <input type="radio"/>            | 192.168.1.155 | CPU;RAM;Disk | winsnmp   | グラフ作成中 |

グラフ表示/メール添付

図 2.1.2 表示／メール添付



メール添付する場合は、「メール添付」をクリック

# プロットグラフ機能概要と処置

## 3. その他

「gnuplot 実行時の引数」

```
'path="?:¥¥visualmonitor¥¥xampp¥¥htdocs¥¥plot¥¥plotimage¥¥",  
ghost="192.168.1.155"'
```

「gnuplot文」

```
set title ghost." Maximum Load per Hour"
```

```
set xlabel "Time Hour"
```

```
set ylabel "Load %"
```

```
set yrange [0:100]
```

```
set size 1 , 0.9
```

```
set terminal svg
```

```
set output path.ghost.".svg"
```

```
plot path.ghost.".ok" using 2:xticlabels(1) with lines title "CPU",
```

```
    path.ghost.".ok" using 3 with lines title "Memory",
```

```
    path.ghost.".ok" using 4 with lines title "Disk"
```

```
unset output
```

```
quit
```